

2018年10月入学

岡山大学大学院社会文化科学研究科
(博士前期課程)

外国人留学生海外特別入試学生募集要項

岡山大学大学院社会文化科学研究科

連絡先 岡山大学大学院社会文化科学研究科教務学生担当
所在地 〒700-8530 岡山市北区津島中3-1-1
FAX : 81-86-251-7350
E-mail : ggg7372@adm.okayama-u.ac.jp

岡山大学大学院社会文化科学研究科の教育における3つの方針（ポリシー）

岡山大学大学院社会文化科学研究科は、文学部、法学部、経済学部の3つの学部を基盤とし博士前期課程と博士後期課程から構成される学際型・融合型の大学院です。博士前期課程には、国際社会専攻、日本・アジア文化専攻、人間社会文化専攻、法政理論専攻、経済理論・政策専攻、組織経営専攻の6専攻があり、人文社会科学系のほとんどの学問領域を網羅しています。

岡山大学大学院社会文化科学研究科は、西日本における学術研究の中核拠点の1つとして国際水準の研究・教育を行い、高度な専門性と幅広い視野および豊かな人間性を備えた有為な人材を育成しています。また地域の行政や企業をはじめとする様々な主体と深く結びつくとともに、地域の文化・社会・経済に貢献する大学院として機能しています。

（1）入学者受け入れの方針（アドミッションポリシー）

博士前期課程においては、最先端の研究に裏づけられた教育を施すほか、多様な分野に関わる複合的・学際的な研究を通して、広く文学・法学・経済学の各分野に通じた高度な知識・能力と技術・判断力を身につけた研究者や専門人の育成をめざすとともに、深い教養と国際的な感覚を身につけ、また物事を多角的に観察・洞察し、柔軟に社会の変化に対応できる能力の向上を図っています。

博士前期課程の組織経営専攻および地域公共政策プログラムにおいては、企業や官公庁・自治体等の個別具体的な組織の運営・経営のためのより適切な能力を身につけようとする人を受け入れています。

求める人材像

1. 当研究科では、文学・法学・経済学の各分野において高度の知識・能力と技術・判断力を身につけた研究者や職業人を目指す入学者を求めています。
2. 当研究科では、人文・社会科学の多様な分野に関わる、あるいは自然科学にまたがる複合的・学際的な新しいタイプの研究を希望する入学者を求めています。
3. 当研究科では、専門的な教育や深い教養を志向する社会人を受け入れます。
4. 当研究科では、キャリアアップやリーダーシップを志向する職業人を受け入れます。
5. 当研究科では、「共生社会の構築」、即ち「人間と人間の共生」、「多文化の共生」、「地域における経済的・政治的な共生」等の問題に取り組むことを望む入学者を歓迎します。

（2）教育課程編成・実施の方針（カリキュラムポリシー）

博士前期課程では、文学部・法学部・経済学部における基礎的専門教育との連続性に配慮したカリキュラムを編成し、今日における新たな教育に対する要請に応えるべく、複合的・総合的・学際的な教育を体系的に提供できる体制が整備されています。組織経営専攻および地域公共政策プログラムにおいては、地元の企業や官公庁・自治体の現場の経験に触れることができるよう配慮されています。

（3）学位授与の方針（ディプロマポリシー）

博士前期課程では、修士論文などに纏めた研究成果が当研究科の定める学位授与の水準を満たしていることに加え、高度な専門知識を修得の上、特定の課題についての研究を遂行する能力を身につけるとともに、関連の諸課題に的確に対処し得る思考力と行動力を備えている者に対して修士（文化科学、文学、法学、経済学、公共政策学、経営学＝MBA、学術）の学位を授与しています。

目次

1. 募集人員	1 ページ
2. 出願資格	1 ページ
3. 出願資格審査	2 ページ
4. 出願手続	2 ページ
5. 受験番号の通知	4 ページ
6. 入学試験の方法及び入学者選抜方法	4 ページ
7. 合格者発表	5 ページ
8. 入学手続	5 ページ
9. 入試情報開示	5 ページ
10. その他	5 ページ

外国人留学生海外特別入試の特徴等

大学院社会文化科学研究科（博士前期課程）の外国人留学生海外特別入試では、入学志願者が入学試験のための渡日をする事なく、日本国外に居住のまま受験することができます。

1. 募集人員

専攻	研究深化プログラム	高度人材育成プログラム	募集人員
国際社会	国際言語文化論講座 国際法政講座 国際比較経済講座	国際相互理解 英語科教員育成 グローバル法政 東アジア中核人材育成	若干人
日本・アジア文化	日本・アジア言語文化論講座 言語情報論講座	アジア言語文化総合 国語科教員育成 日本語教師育成	
人間社会文化	哲学・思想文化論講座 美学・芸術学講座 歴史文化論講座 フィールド科学講座 心理学講座	人間社会文化総合 多文化共生 社会科系教員育成 心理専門職育成	
法政理論	法政理論講座	公共法政 企業法務 司法実務	
経済理論・政策	経済理論・統計講座 政策科学講座	政策実践	
組織経営	経営学講座 会計学講座	リーダー育成 会計・財務専門職育成	

上記募集人員には、英語プログラムの募集人員を含みます。
※英語プログラムは全専攻で募集します。

2. 出願資格

次の各号のいずれにも該当する者

1 次のいずれかに該当する者

- ①外国において学校教育における16年の課程を修了した者又は2018年9月までに修了見込みの者
- ②外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者
- ③研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、2018年9月までに22歳に達しているもの
- ④外国において学校教育における15年の課程を修了した者で、大学院が定める単位を優秀な成績で修得したと認められた者

2 岡山大学の大学間交流協定校又は本研究科、文学部、法学部、経済学部の部局間交流協定校を卒業した者及び2018年9月までに卒業見込みの者

3 日本語能力試験1級又はN1を取得している者

4 日本国外に居住し、入学試験を受験するために渡日することができない外国人（日本国籍を有する者及び日本の永住権取得者を除く）。

- (注1) 出願資格1-②又は1-③により出願する方は、出願に先立ち出願資格審査を行います。
- (注2) 大学院入学後に、「出入国管理及び難民認定法」に定める「留学」の在留資格を取得できる見込みの者
- (注3) 修了(卒業)見込みで出願した者で、2018年9月までに修了(卒業)できない者は入学を取り消します。

3. 出願資格審査

(1) 出願資格審査方法

出願資格1-②又は1-③により出願する方は、出願に先立ち出願資格審査を行います。
該当の入学志願者は、下記(3)の申請書類を、受付期間内に必着するよう「国際スピード郵便」にて下記(2)の申請書類提出先まで郵送してください。

(2) 申請書類受付期間・提出先

2018年3月16日(金)まで(必着)

封筒の表に「大学院社会文化科学研究科博士前期課程外国人留学生海外特別入試出願資格審査書類在中」と朱書きし、「国際スピード郵便」で郵送してください。

提出先：〒700-8530 岡山市北区津島中3-1-1

岡山大学大学院社会文化科学研究科教務学生担当

(3) 申請書類

- ①入学試験出願資格認定審査願(所定様式)
- ②履歴書(所定様式)
- ③研究業績表(所定様式)又は研究経過報告書(様式任意)(2,000字程度)
- ④最終学校の卒業(見込)証明書
- ⑤最終学校の成績証明書

※ 出願書類はすべて原本に限ります。(④、⑤の書類は、受付時に複写し、返却します。)

(注) 上記の書類のうち外国語で作成されている書類は、日本語訳を添付してください。

(4) 申請書類の請求方法

岡山大学大学院社会文化科学研究科ホームページ(下記URL参照)から、出願資格審査申請書類を取得してください。

URL <http://www.okayama-u.ac.jp/user/hss/admission/index.html>

(5) 認定方法

書類審査により行います。

(6) 審査結果について

審査結果については2018年4月6日(金)頃本人あてに「国際スピード郵便」で通知します。なお、いかなる理由があっても提出書類は返却しません。

出願資格が認められた方は、4. 出願手続に従い出願手続を行ってください。事前審査で提出済みの証明書等は、出願手続時に再度提出する必要はありません。

4. 出願手続

(1) 出願方法

入学志願者は、下記(5)の出願書類等を、出願期間内に必着するよう「国際スピード郵便」にて下記(3)の出願書類提出先まで郵送してください。

- (2) 出願期間
2018年4月18日(水)～2018年5月9日(水)まで(必着)
- (3) 出願書類提出先
〒700-8530 岡山市北区津島中3-1-1
岡山大学大学院社会文化科学研究科教務学生担当
- (4) 出願上の注意
①出願後の出願書類等の記載内容についての変更は認められません。
②出願書類受理後は、いかなる理由があっても返却しません。
③出願書類に不備があるもの及び入学検定料に不足のあるものは受理しません。
④出願書類等の記載内容に虚偽の記載があった場合は、入学後においても入学が取り消されることがありますので注意してください。
- (5) 出願書類等
①入学願書・履歴書(所定様式)
②出身大学の卒業(見込み)証明書
③出身大学の成績証明書
④研究計画書(2,000字程度)(所定様式)
⑤日本語能力試験1級又はN1の証明書
財団法人日本国際教育支援協会と独立行政法人国際交流基金が主催しているもの
⑥写真(最近3ヶ月以内に撮影したもの、縦4cm×横3cm、上半身、正面、脱帽、裏面裏面に氏名を記入し、入学願書の所定の箇所に貼付してください)
⑦入学検定料 30,000円(振込手数料が別に必要です。)
日本国外から出願する場合
入学検定料30,000円(日本円)を次の要領に従って振込によって納付し、外国送金依頼書のコピーを提出してください。現地振込銀行及び日本受取銀行において別途手数料がかかる場合は、上の金額とは別に窓口で支払いが必要です。
送金種類：電信送金
支払方法：通知払
支払銀行手数料：依頼人負担
送金金額：30,000円
入学検定料は必ず「円建て」とし、手数料(依頼人負担)も含め、過不足なく送金してください。
送金目的：入学検定料
送金先
受取銀行：THE CHUGOKU BANK, LTD. (スワフトコード：CHGKJPJZ)
支店名：HOUKAIIN BRANCH
受取銀行住所：2-5-22, Yamatomachi, Kita-ku, Okayama 700-0808 Japan
受取口座番号：104-00-1797911
受取人名：OKAYAMA UNIVERSITY
受取人住所：1-1-1, Tsushima-Naka, Kita-ku, Okayama 700-8530 Japan
⑧在籍大学(出身大学)からの推薦書(所定様式)
⑨本研究科が必要と認める書類(任意提出)
・学位(学士)論文又はそれに代わる研究論文及び学位(学士)論文の要旨(2,000字程度)

・研究業績等

※ 出願書類はすべて原本に限ります。(②, ③, ⑤の書類は, 受付時に複写し, 返却します。)

(注1) いかなる理由があっても振込済の入学検定料は返還しません。ただし, 次の①~③の場合については, その限りではありません。

①入学検定料を振り込んだが, 出願書類等を提出しなかった場合

②入学検定料を振り込んだが, 出願が受理されなかった場合

③入学検定料を誤って二重に振り込んだ場合

(注2) 上記の書類のうち外国語で作成されている書類は, 日本語訳を添付してください。

ただし, 出願書類⑨の学位(学士)論文又はそれに代わる研究論文については, 日本語訳は不要です。

(6) 入学願書志望教員欄について

この欄は事前に志望教員の人数把握を行い, 指導体制を整えるために記入してもらうものです。記入に際しては, (<http://www.okayama-u.ac.jp/user/hss/information/index.html>)を参照し, 志望教員に事前連絡の上, 必ず記入してください。

(7) 出願書類の請求方法

岡山大学大学院社会文化科学研究科ホームページ(下記 URL 参照)から, 出願書類を取得してください。

URL <http://www.okayama-u.ac.jp/user/hss/admission/index.html>

(8) 個人情報の取扱い

提出された出願書類等及び記載されている個人情報は, 入学者選抜に係る業務に使用します。ただし, 入学者については志願票に記載された氏名, 性別, 生年月日, 現住所, 出身学校等の個人情報を本学学務システムの学校基本情報への登録データとしても利用します。

また, 合格者の受験番号, 氏名(漢字・カナ)の個人情報については, 本学授業料債権管理事務システム及び授業料免除事務システムの業務にも利用します。

なお, 入学料免除の申請, 入学料徴収猶予の申請, 授業料免除の申請及び独立行政法人日本学生支援機構奨学金等への申請があった場合は, 申請者本人の入学試験成績及び学業成績証明書を入学料徴収猶予等の業務に係る学力判定処理に利用することがあります。

5. 受験番号の通知

(1) 受験番号は, 2018年5月14日(月)頃に「入学願書」に記載されているメールアドレス宛に通知します。

なお, 到着しない場合には, 次の連絡先に連絡してください。

岡山大学大学院社会文化科学研究科教務学生担当

FAX : 81-86-251-7350

E-mail : ggg7372@adm.okayama-u.ac.jp

(2) 受験番号は, 合格発表及び入試情報開示請求の際に必要なとなりますので, 大切に保管しておいてください。

6. 入学試験の方法及び入学者選抜方法

応募書類により書類審査を行い, 可否を決定します。

配点 : 書類審査 100点

7. 合格者発表

2018年6月6日(水) 13時

岡山大学大学院社会文化科学研究科ホームページに合格者の受験番号を掲載するとともに、合格者には文書で通知します。なお、電話等による可否の問い合わせには一切応じません。

8. 入学手続

(1) 入学手続方法

詳細は合格通知書とともに送付する「入学案内」により通知します。

(2) 入学手続期間

詳細は合格通知書とともに送付する「入学案内」に掲載しています。

9. 入試情報開示

(1) 開示対象者

2018年10月入学岡山大学大学院社会文化科学研究科博士前期課程外国人留学生海外特別入試の受験者

(2) 開示内容

①本人の試験成績

②合格者成績情報(合格者成績情報(最高点,最低点)。ただし,合格者が5人未満の場合は開示しません。)

(3) 開示請求方法

入試情報開示請求書(所定様式)に受験番号の通知を添えて,本人が下記(4)の開示請求期間中に社会文化科学研究科教務学生担当あてに提出してください。また,入試情報開示請求書は,社会文化科学研究科ホームページから取得してください。

URL <http://www.okayama-u.ac.jp/user/hss/admission/index.html>

〒700-8530 岡山市北区津島中3-1-1

岡山大学大学院社会文化科学研究科教務学生担当

(4) 開示請求期間

この開示請求については,2018年10月1日(月)から10月31日(水)(土曜日,日曜日,祝日は除きます。)の9時から17時15分まで受け付けます。

郵送で2018年11月1日(木)以降に到着したものは,2018年10月31日(水)までの消印があれば受け付けます。

(5) 開示方法

入試情報開示請求書の受理後,通知書の準備ができ次第,速やかに開示(発送)します。

ただし,提出された入試情報開示請求書及び手続に不備があるときには,開示しない(修正を求める)ことがあります。

10. その他

(1) 入学料及び授業料

入学料 282,000円 [予定額]

授業料(年額) 535,800円 [予定額]

※入学時及び在学中に改定が行われた場合には,改定時から新たな金額が適用されます。

(2) 修学援助

修学援助の一環として、入学料免除・徴収猶予、授業料免除及び奨学金の制度があります。

(3) 問い合わせ

本学生募集に関する問い合わせは、下記あてに FAX 又は E メールで行ってください。

①出願，専攻分野，指導教員等に関する問い合わせ

〒700-8530 岡山市北区津島中3-1-1

岡山大学社会文化科学研究科教務学生担当

FAX：81-86-251-7350

E-mail：ggg7372@adm.okayama-u.ac.jp

②宿舎に関する問い合わせ

岡山大学グローバル・パートナーズ留学交流課

E-mail：housing@cc.okayama-u.ac.jp